

【表紙】

【提出書類】 有価証券報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の2第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2021年6月15日

【事業年度】 第12期（自 2019年3月1日 至 2020年2月29日）

【会社名】 ウエルシアホールディングス株式会社

【英訳名】 WELCIA HOLDINGS CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 松本 忠久

【本店の所在の場所】 東京都千代田区外神田二丁目2番15号

【電話番号】 03-5207-5878（代）

【事務連絡者氏名】 取締役副社長兼執行役員最高財務責任者 佐藤 範正

【最寄りの連絡場所】 東京都千代田区外神田二丁目2番15号

【電話番号】 03-5207-5878（代）

【事務連絡者氏名】 取締役副社長兼執行役員最高財務責任者 佐藤 範正

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

2020年5月22日に提出いたしました第12期（自 2019年3月1日 至 2020年2月29日）有価証券報告書の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2 【訂正事項】

第一部 企業情報

第4 提出会社の状況

4 コーポレート・ガバナンスの状況等

(5) 株式の保有状況

シミズ薬品(株)における株式の保有状況

(a) 保有目的が純投資目的以外の目的である投資株式

ハ) 特定投資株式及びみなし保有株式の銘柄ごとの株式数、貸借対照表計上額等に関する情報

3 【訂正箇所】

訂正箇所は____を付して表示しております。

(訂正前)

ハ) 特定投資株式及びみなし保有株式の銘柄ごとの株式数、貸借対照表計上額等に関する情報

特定投資株式

銘柄	当事業年度	前事業年度	保有目的、定量的な保有効果 及び株式数が増加した理由	当社の株式の保有の有無
	株式数(株)	株式数(株)		
	貸借対照表計上額 (百万円)	貸借対照表計上額 (百万円)		
第一三共(株)	22,000	22,000	取引関係の維持・強化のため。	無
	144	91		
阪急阪神ホールディングス(株)	9,800	9,800	将来の出店等を見据えた情報収集・連携強化のため。	無
	34	39		
京阪電気鉄道(株)	6,800	6,800	将来の出店等を見据えた情報収集・連携強化のため。	無
	29	31		
日本電信電話(株)	4,000	4,000	将来の出店等を見据えた情報収集・連携強化のため。	無
	20	19		
ゼリア新薬工業(株)	6,146	6,146	取引関係の維持・強化のため。	無
	10	11		
大正製薬ホールディングス(株)	300	300	取引関係の維持・強化のため。	無
	2	3		
アルフレッサホールディングス(株)	920	920	取引関係の維持・強化のため。	有 (注) 2
	1	2		

(注) 1 定量的な保有効果については、記載が困難であるため、毎年個別の保有株式について、保有の適切性、有益性、保有コスト等について検証しており、取締役会において、現状保有する政策保有株式がいずれも保有方針に沿った目的で保有していることを確認しております。

2 アルフレッサホールディングス(株)の連結子会社であるアルフレッサ(株)及びアルフレッサヘルスケア(株)が、当社の株式を保有しております。

(訂正後)

ハ) 特定投資株式及びみなし保有株式の銘柄ごとの株式数、貸借対照表計上額等に関する情報

特定投資株式

銘柄	当事業年度	前事業年度	保有目的、定量的な保有効果 及び株式数が増加した理由	当社の株式の保有の有無
	株式数(株)	株式数(株)		
	貸借対照表計上額 (百万円)	貸借対照表計上額 (百万円)		
第一三共(株)	22,000	22,000	取引関係の維持・強化のため。	無
	144	91		
阪急阪神ホールディングス(株)	9,800	9,800	将来の出店等を見据えた情報収集・連携強化のため。	無
	34	39		
京阪電気鉄道(株)	6,800	6,800	将来の出店等を見据えた情報収集・連携強化のため。	無
	29	31		
日本電信電話(株)	8,000	4,000	将来の出店等を見据えた情報収集・連携強化のため。株式分割により株式数が増加しております。	無
	20	19		
ゼリア新薬工業(株)	6,146	6,146	取引関係の維持・強化のため。	無
	10	11		
大正製薬ホールディングス(株)	300	300	取引関係の維持・強化のため。	無
	2	3		
アルフレッサホールディングス(株)	920	920	取引関係の維持・強化のため。	有 (注) 2
	1	2		

(注) 1 定量的な保有効果については、記載が困難であるため、毎年個別の保有株式について、保有の適切性、有益性、保有コスト等について検証しており、取締役会において、現状保有する政策保有株式がいずれも保有方針に沿った目的で保有していることを確認しております。

2 アルフレッサホールディングス(株)の連結子会社であるアルフレッサ(株)及びアルフレッサヘルスケア(株)が、当社の株式を保有しております。